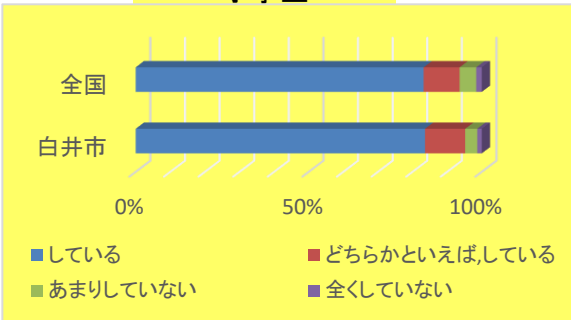


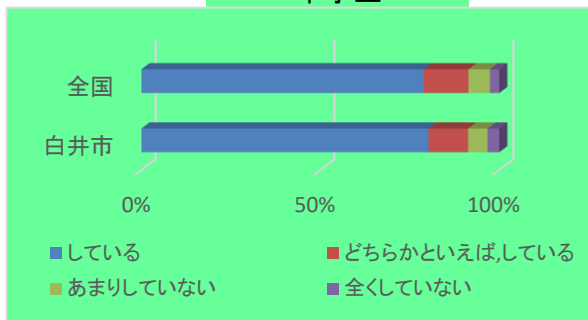
1 生活習慣について

朝食を毎日食べていますか。

小学生

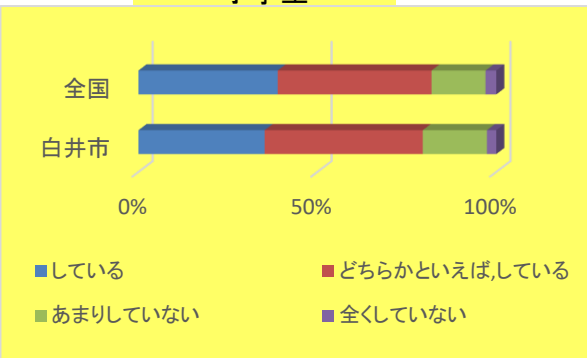


中学生

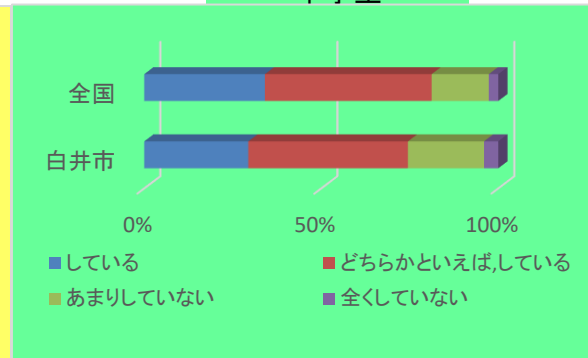


毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

小学生



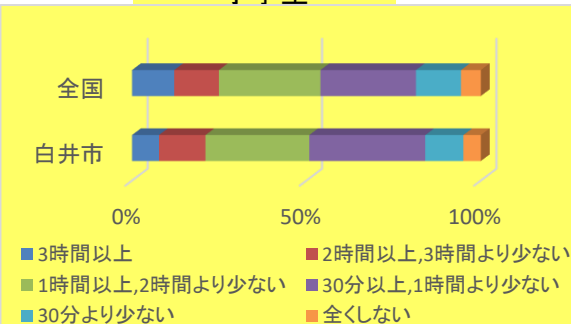
中学生



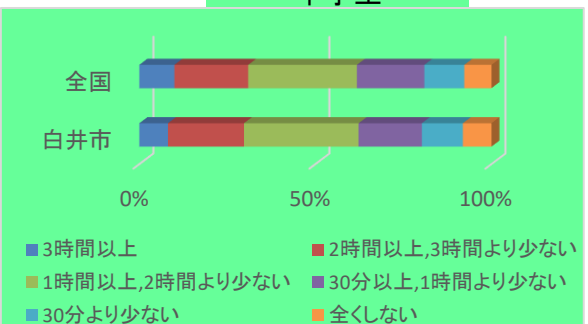
2 家庭学習について

学校の授業以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。（学習塾や家庭教師に教わっている時間を含む）

小学生

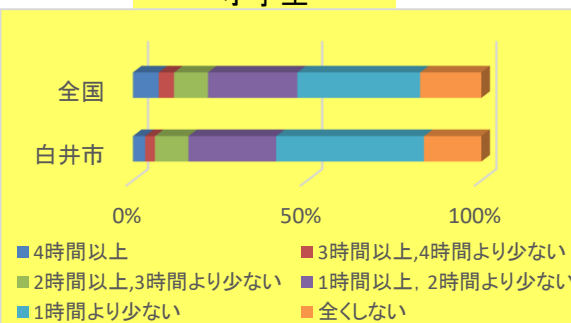


中学生

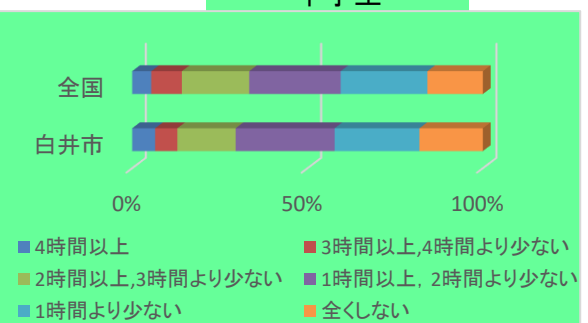


土日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。（学習塾や家庭教師に教わっている時間を含む）

小学生



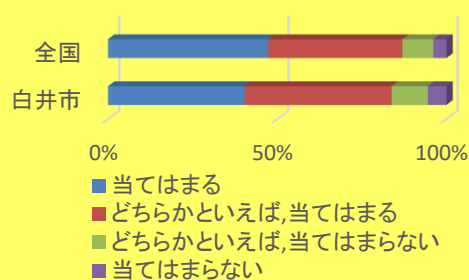
中学生



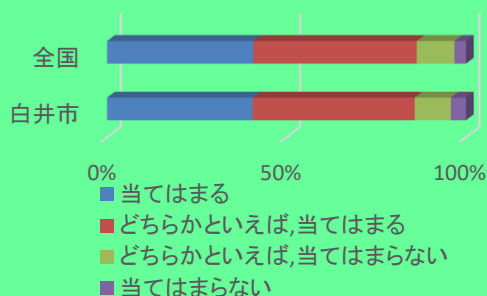
3 意欲・自己肯定感について

自分には、よいところがあると思いますか。

小学生

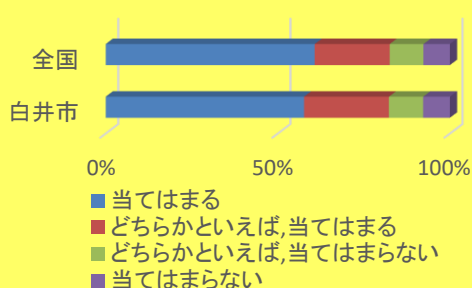


中学生

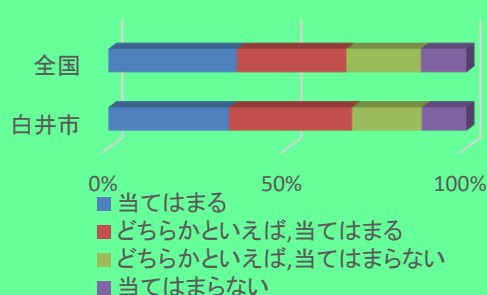


将来の夢や目標を持っていますか。

小学生



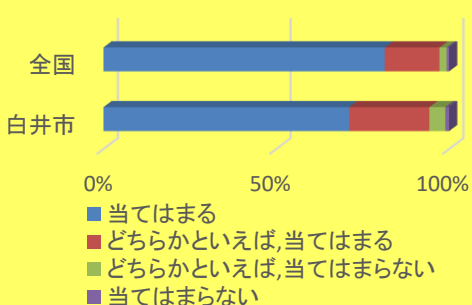
中学生



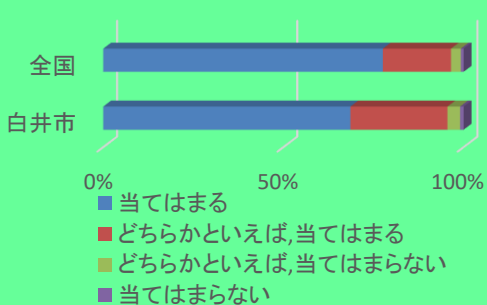
4 人間関係について

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

小学生

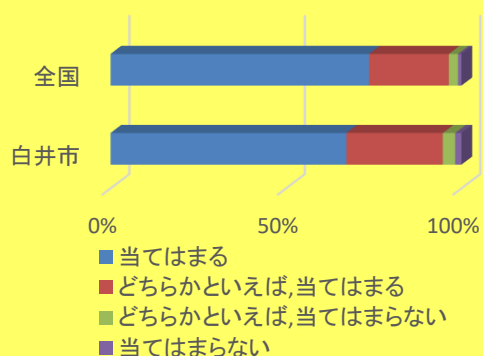


中学生

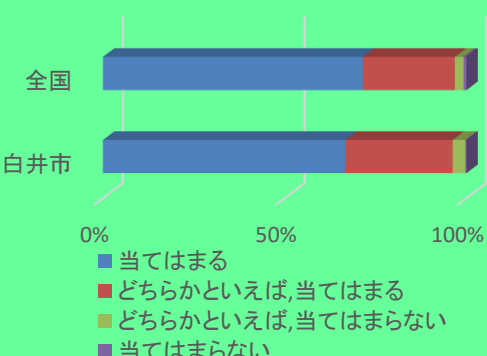


人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

小学生

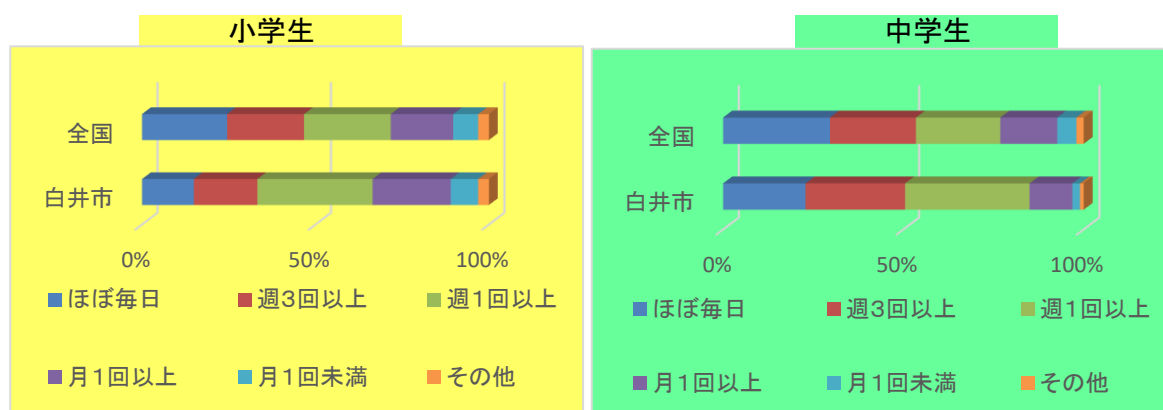


中学生



5 ICTについて

昨年度までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。



【白井の子どもたちの様子】

○朝食は、児童で83%、生徒は80%が毎日摂っている。一方、決まった時刻に就寝する児童は35%、生徒が29%であった。朝食をしっかりと摂ることや就寝時刻が安定していることは、児童生徒の健康面に影響を及ぼす要素の一つである。今後も、自身の健康に意識するための健康教育や食育を家庭と連携して推進していく。

○小学校では、家庭学習の時間を全国平均より多いことが分かる。また、平日・休みの日を問わず、家庭で全く学習しないという割合が全国平均より低い。引き続き、家庭と連携しながら、家庭学習に取り組めるよう支援していく。

○小中学校においては、将来の夢や目標を持っている児童の割合が全国平均より高い割合を示している。今後もキャリア教育を充実させ、明るい未来を描ける児童生徒の育成に努めていく。

○「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」という設問に対し、「どちらかといえば当てはまる」の回答率が高い。児童生徒がいじめに関する問題を自分自身のこととして、多面的・多角的に考えられる道德教育をさらに充実させ、家庭との連携を図っていかねばならない。

○1人1台端末が配備され、小中学校共に90%を越える割合で週1回以上の活用があることが読み取れる。今後も授業や調べ学習、発表する場面や課題作成等、様々な場面ででのさらなる活用が期待される。